

# ミクロン精密株式会社

2016年8月期 決算説明資料

◆本資料は投資を勧誘、推奨するものではありません。この情報に基づいての投資判断は、個人の責任において行ってください。

# 2016年8月実績 損益計算書比較(連結)



(百万円)

	2015年8月期 実績		2016年8月期 実績		前期 からの 伸び率
		百分比		百分比	
売上高	6,891	100.0 %	6,706	100.0 %	- 2.7 %
売上総利益	2,787	40.5 %	2,448	36.5 %	- 12.1 %
販売費及び一般管理費	1,112	16.2 %	1,262	18.8 %	13.4 %
営業利益	1,674	24.3 %	1,186	17.7 %	- 29.1 %
経常利益	2,114	30.7 %	1,085	16.2 %	- 48.7 %
親会社株主に帰属する当期純利益	1,388	20.2 %	739	11.0 %	- 46.8 %
1株当たり配当金	65.00円		50.00円		

売上高につきましては、国内向けは好調に推移したものの、米国をはじめ海外向けの売上が減少したことにより、前回予想を2億84百万円下回る67億6百万円となりました。営業利益につきましては、生産効率の向上と原価低減に取り組んだことにより、前回予想を42百万円上回る11億86百万円となりました。経常利益につきましては、為替変動による外貨建資産等の為替差損や評価損の計上があったこと等により、前回予想を1億78百万円下回る10億85百万円となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前述の経常利益の減少等により、前回予想を54百万円下回る7億39百万円となりました。

# 売上高の推移<通期>

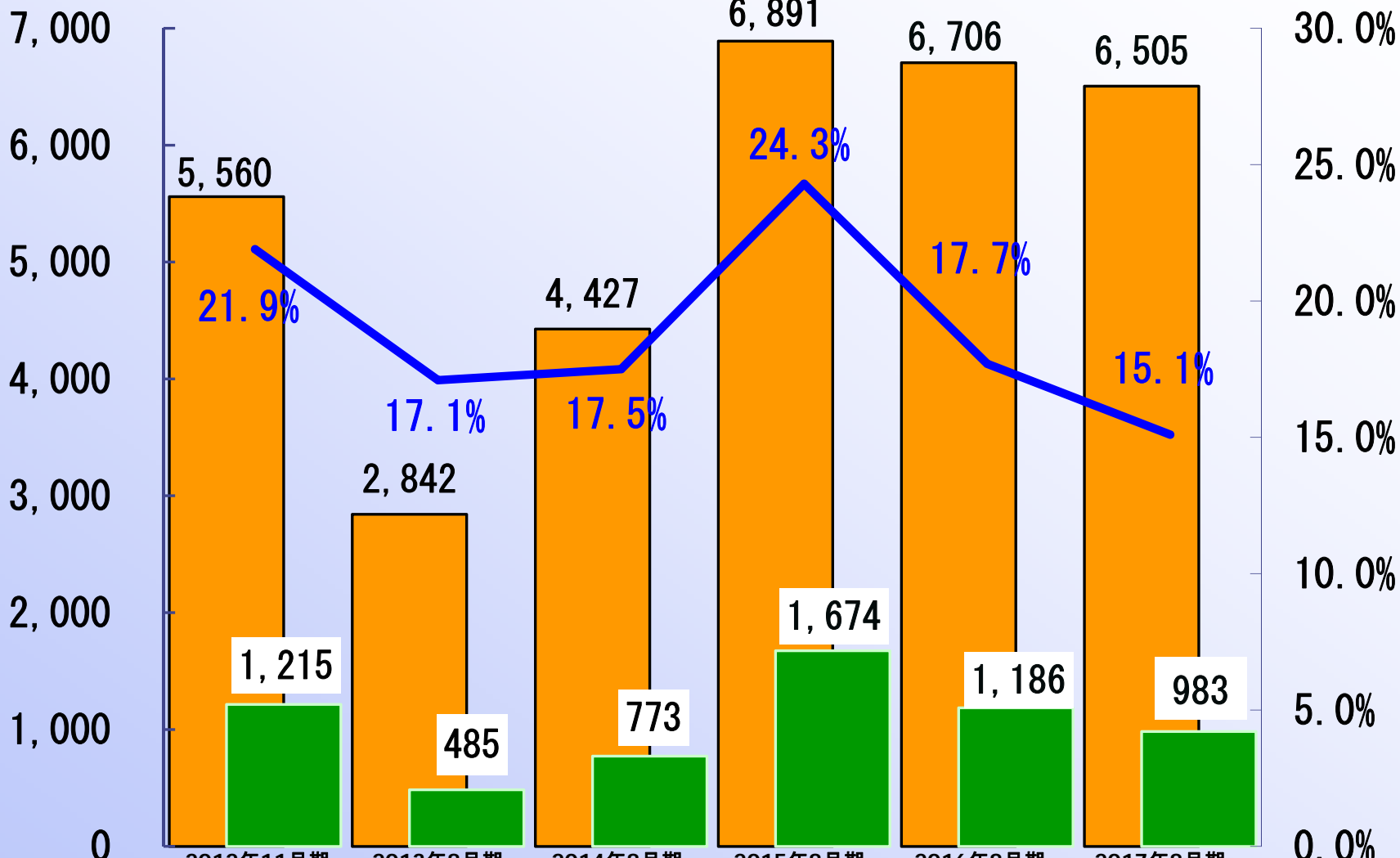
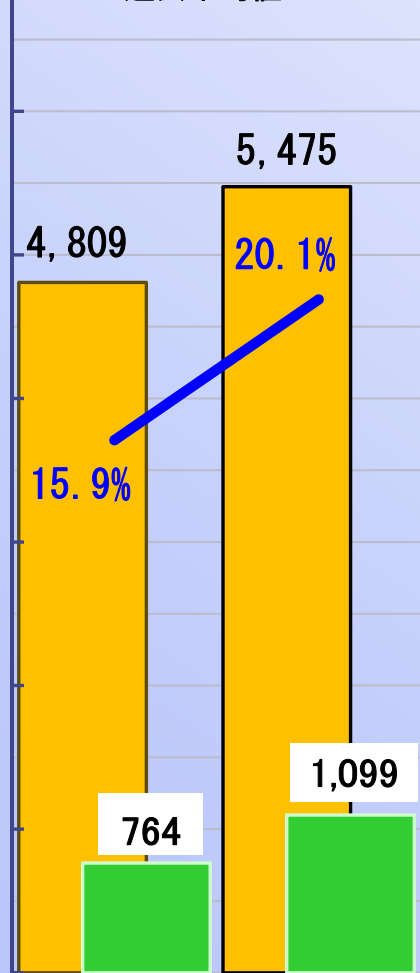
(単位：百万円)

(単位：百万円) ■ 売上高

■ 営業利益

— 売上高営業利益率

売上高/営業利益/営業利益率(%)  
過去平均値



過去10年平均 過去5年平均

第53期 期末 第54期 期末 (9ヵ月) 第55期 期末 第56期 期末 第57期 期末 第58期 期末 予想

# 2016年8月予想と実績 損益計算書(連結)

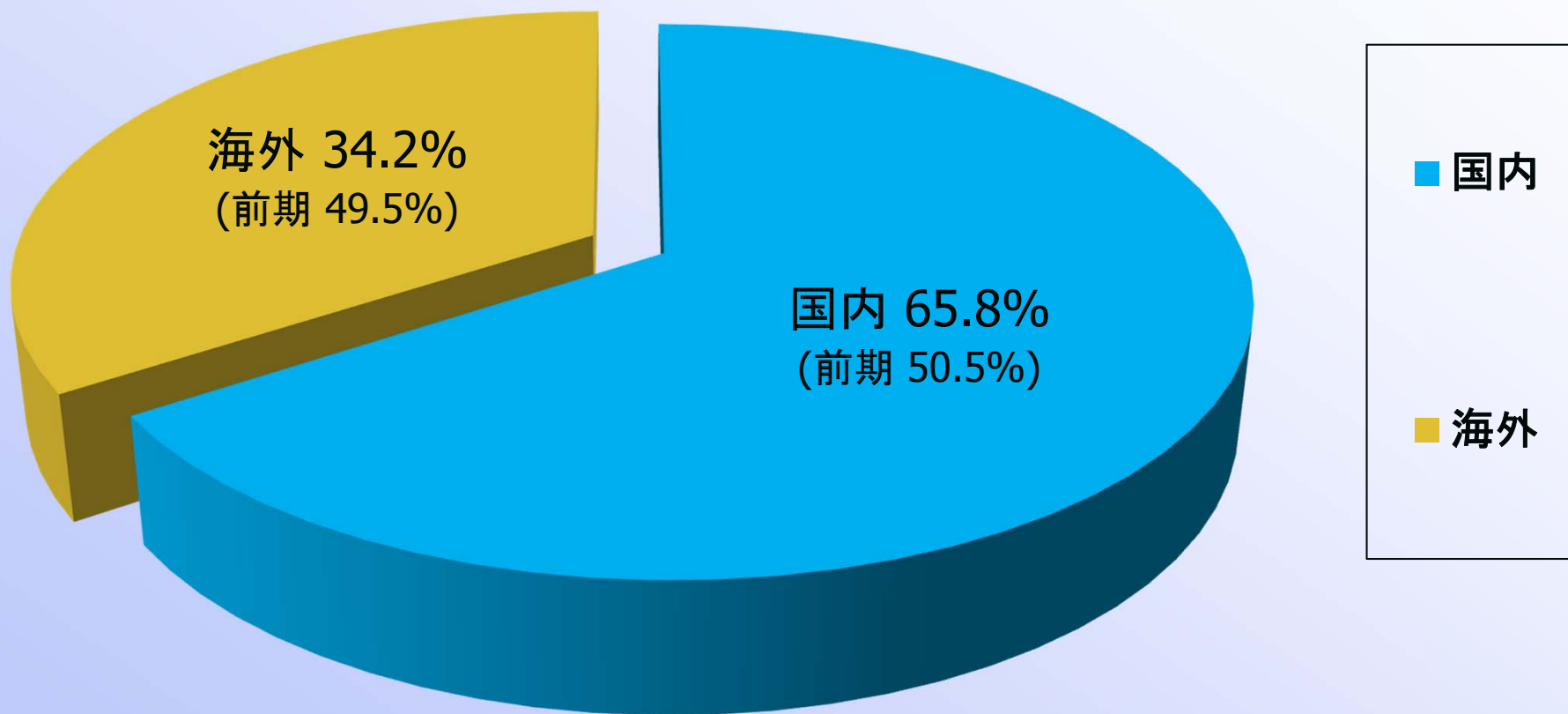


(百万円)

	2016年8月期 予想		2016年8月期 実績		予想からの 伸び率
		百分比		百分比	
売上高	6,990	100.0 %	6,706	100.0 %	- 4.1 %
売上総利益	2,322	33.2 %	2,448	36.5 %	5.4 %
販売費及び一般管理費	1,178	16.9 %	1,262	18.8 %	7.1 %
営業利益	1,144	16.4 %	1,186	17.7 %	3.7%
経常利益	1,264	18.1 %	1,085	16.2 %	- 14.1 %
親会社株主に帰属する当期純利益	793	11.4 %	739	11.0 %	- 6.9 %
1株当たり配当金	48.00円		50.00円		

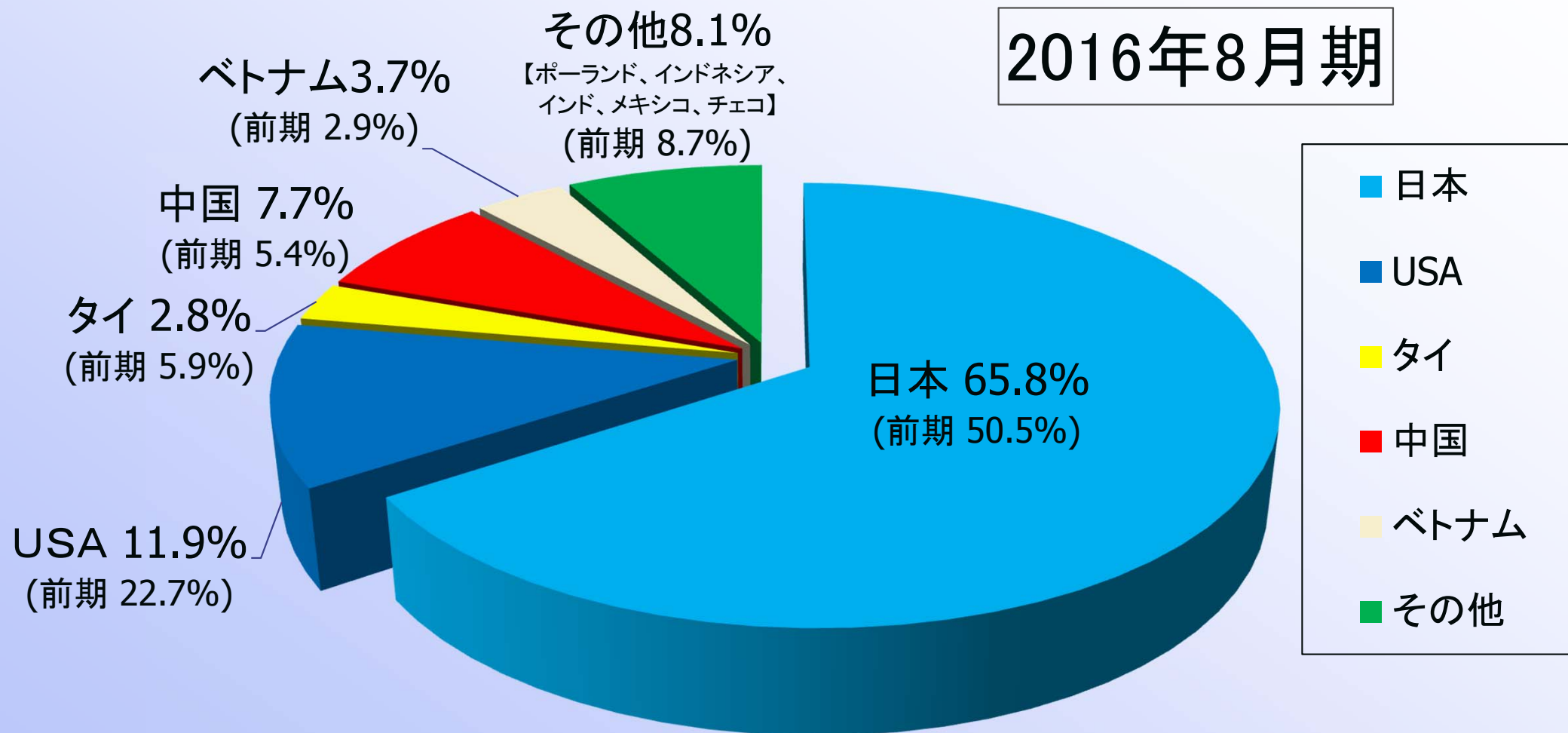
# 国内・海外売上比率

2016年8月期



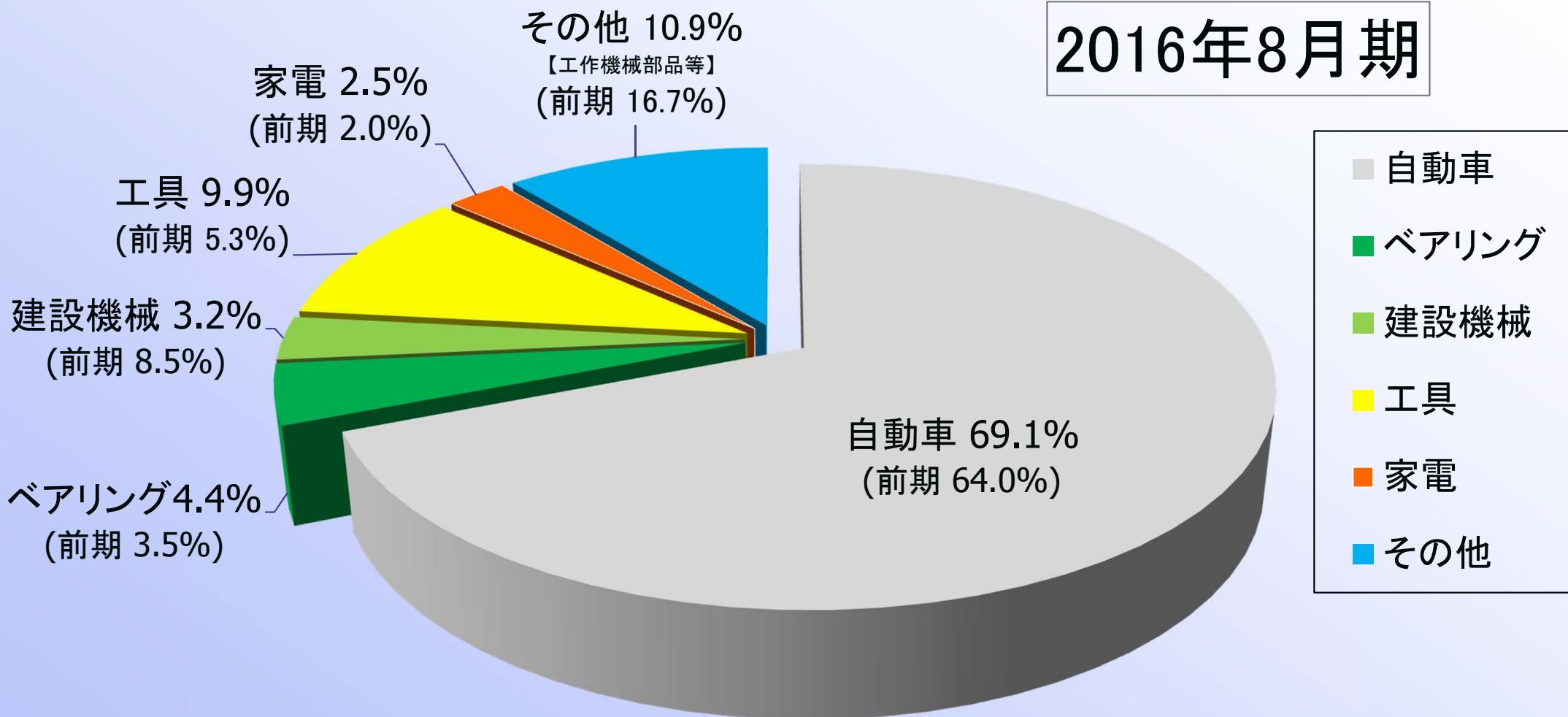
# 国別売上比率

2016年8月期



# 業種別売上比率

2016年8月期



# 2016年8月期実績 品目別売上高(連結)

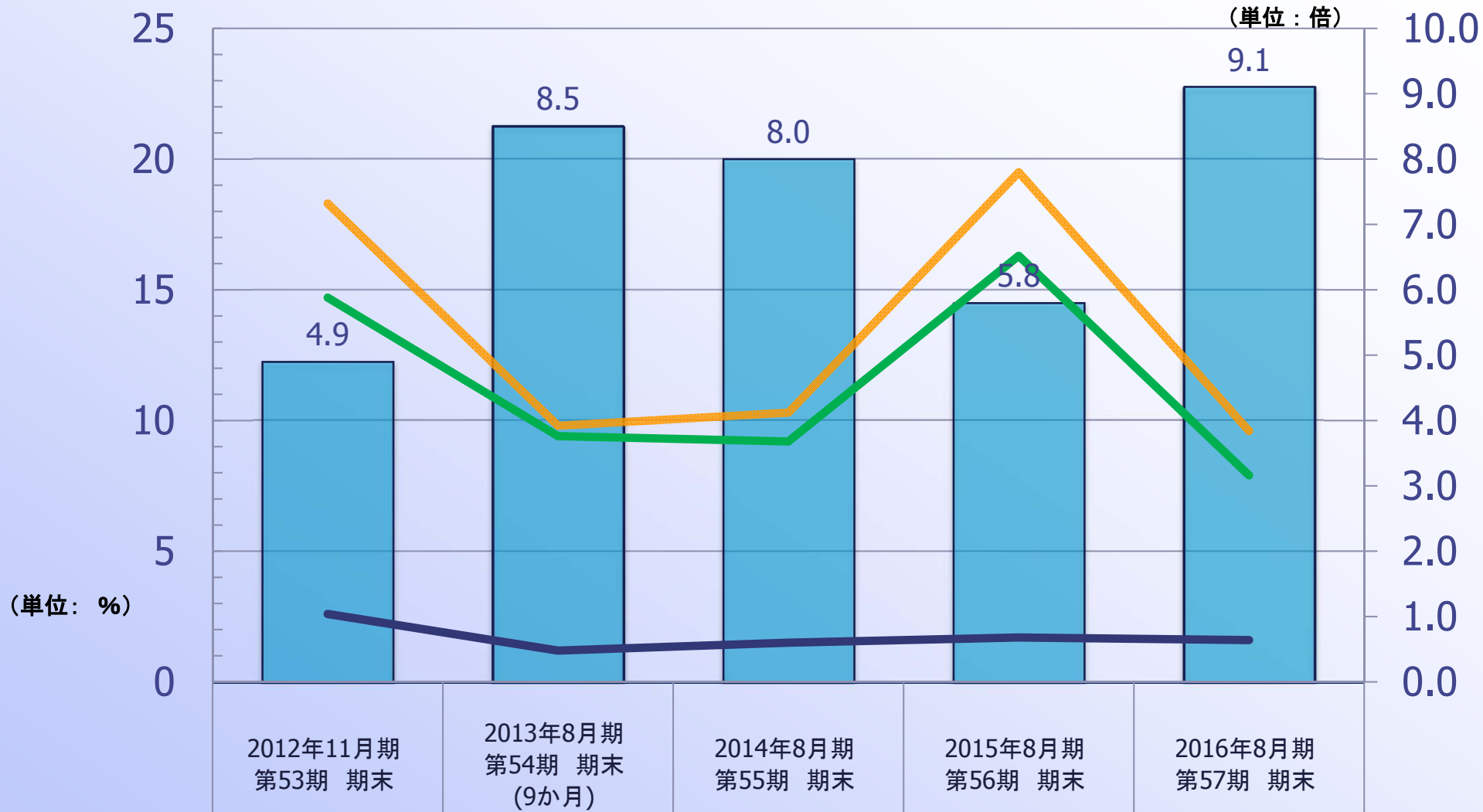
(百万円)

	2015年8月期 実績		2016年8月期 実績		前期からの 伸び率
	売上高	百分比	売上高	百分比	
心なし研削盤	5,501	79.8 %	4,502	67.1 %	-18.2 %
内面研削盤	755	11.0 %	1,463	21.8 %	93.6 %
部品	591	8.6 %	696	10.4 %	17.8 %
その他	42	0.6 %	43	0.7 %	4.6%
合計	6,891	100.0 %	6,706	100.0 %	- 2.7 %

国内の自動車向け売上が好調、また小型研削盤(A0機)の納入拡大により内面研削盤の売上に大きく貢献しました。しかしながら、北米市場をはじめ海外において前期より売上が減少したことにより、心なし研削盤については前期を下回りました。



# 経営指標



PER(株価収益率) 倍	4.9	8.5	8.0	5.8	9.1
ROE(自己資本当期純利益率) %	14.7	9.4	9.2	16.3	7.9
ROA(総資産経常利益率) %	18.3	9.8	10.3	19.5	9.6
配当利回り(決算期末日) %	2.6	1.2	1.5	1.7	1.6

- **A1機 納入実績**

(心なし研削盤	今期	28台
	累積	108台)
(内面研削盤	今期	11台
	累積	18台)
  
- **A0機 納入実績**

(心なし研削盤	今期	7台)
(内面研削盤	今期	15台)

※(今期から納入開始)

# 2017年8月期業績予想 損益計算書(連結)



(百万円)

	2016年8月期実績			2017年8月期予想		
		百分比	前期からの伸び率		百分比	前期からの伸び率
売上高	6,706	100.0 %	- 2.7 %	6,505	100.0 %	- 3.0 %
売上総利益	2,448	36.5 %	- 12.1 %	2,135	32.8 %	- 12.8%
販売費及び一般管理費	1,262	18.8 %	13.4 %	1,151	17.7 %	- 8.7 %
営業利益	1,186	17.7 %	- 29.1 %	983	15.1 %	- 17.1%
経常利益	1,085	16.2 %	- 48.7 %	1,041	16.0 %	- 4.1 %
親会社株主に帰属する当期純利益	739	11.0 %	- 46.8 %	809	12.4 %	9.5 %

次期の見通しにつきましては、世界経済は不安要素を払拭できない環境にあり、国内においても設備投資補助金効果の剥落による動きが見られるものの、今期とほぼ横ばいで推移することと見られます。当社におきましては、国内への販売強化と米国をはじめ海外への積極的な販売展開の強化を図ってまいります。このような状況から、2017年8月期の通期の連結業績予想につきましては、売上高65億5百万円、営業利益9億83百万円、経常利益は10億41百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は8億9百万円をそれぞれ見込んでおります。

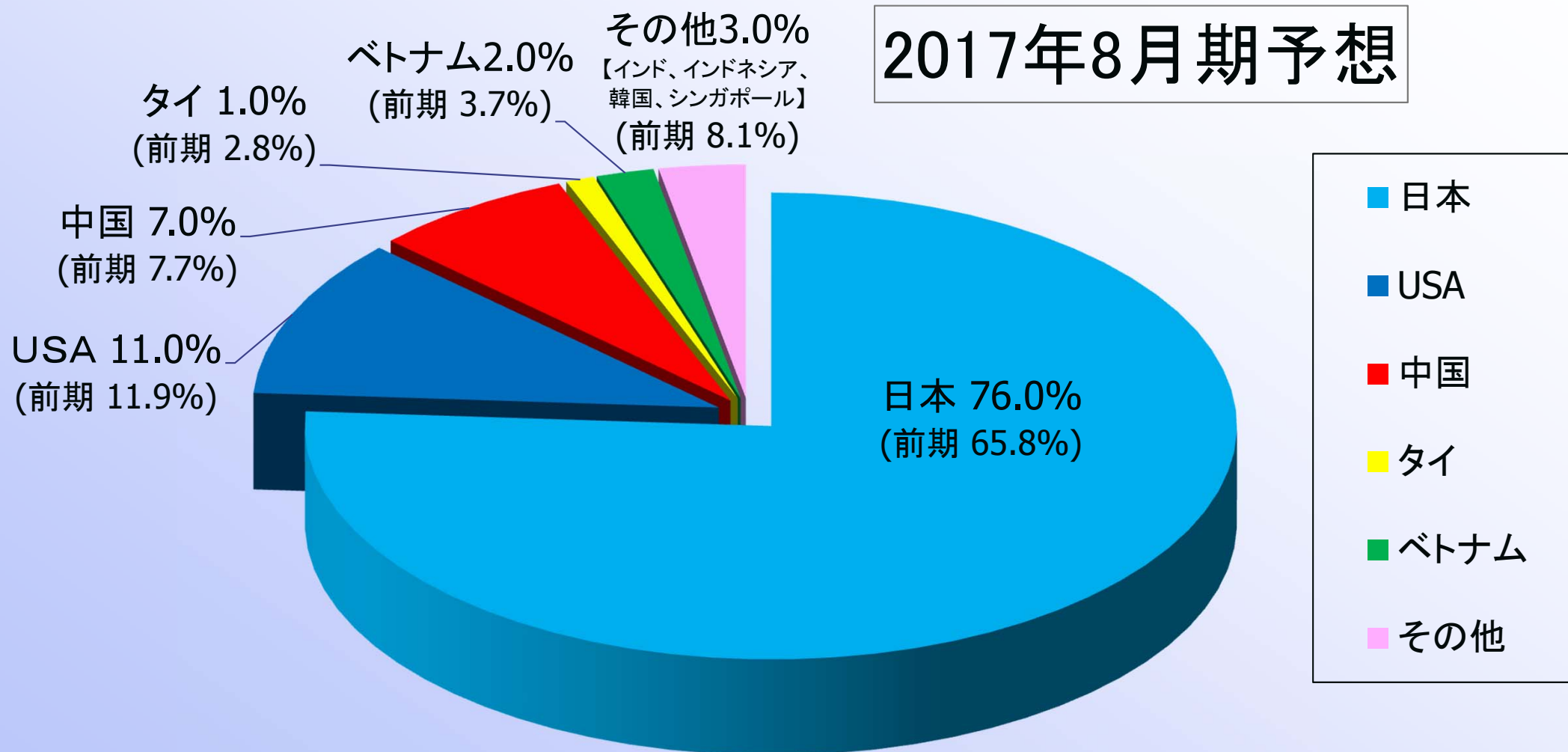
# 2017年8月期業績予想 品目別売上高(連結)

(百万円)

	2016年8月期実績			2017年8月期予想		
	売上高	百分比	前期からの 伸び率	売上高	百分比	前期からの 伸び率
心なし研削盤	4,502	67.1 %	- 18.2 %	4,452	68.4 %	- 1.1 %
内面研削盤	1,463	21.8 %	93.6 %	1,457	22.4 %	- 0.4 %
部品	696	10.4 %	17.8 %	553	8.5 %	- 20.5 %
その他	43	0.7 %	4.6%	41	0.6 %	- 5.1 %
合計	6,706	100.0 %	- 2.7 %	6,505	100.0 %	- 3.0 %

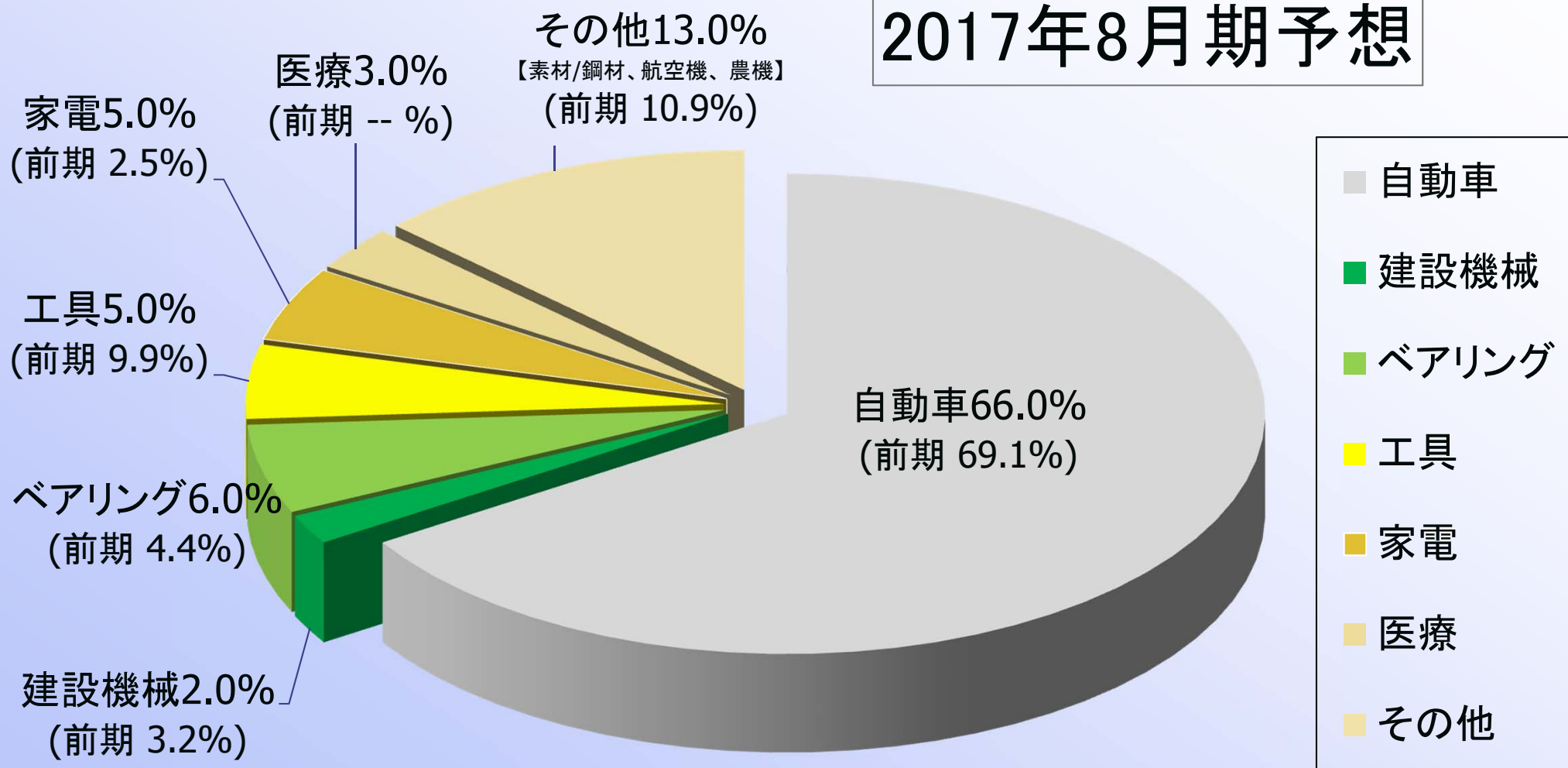
# 国別売上比率 (2017年8月期予想)

2017年8月期予想



# 業種別売上比率 (2017年8月期予想)

2017年8月期予想



- **みはらし工場の稼働**  
(切削加工部門・研削加工部門の集約化)
- **実作業率向上、原価低減プロジェクト**
- **平成28年度<sub>(2016年10月)</sub>技能五輪山形大会**  
**メカトロニクス職種 2チーム4名出場**

## 世界最高峰と社員の幸せを目指して

1. 強みを極める弛まざる研究開発
2. 成長市場への集中
3. 新規市場への参入
4. 人財育成



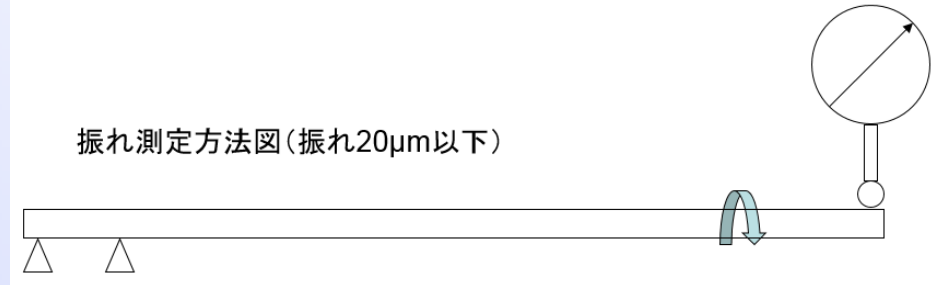
## ◆ 新たな加工技術の開発

### 長尺加工物の高精度研削加工法の開発

ロングドリルなどの長尺加工物に  
向けた新たな研削加工技術の開発

近年需要が高まっているロングドリル  
の高精度化に向けた新しい研削加工  
方法を開発し、新たな市場の開拓。

振れ測定方法図(振れ20 $\mu$ m以下)



L=330mm	素材振れ( $\mu$ m)	研削後( $\mu$ m)
1	160	7
2	170	2
3	110	5

## ◆大型加工物に対応した高精度内面研削盤の開発

### 内面研削盤 MIG-130Li-z2型機の開発

最大外径 $\Phi 100\text{mm}$ に対応した  
内面研削盤

高周波スピンドルを最大4本まで搭載  
が出来、ワンチャックによる複合加工  
に対応可能とした内面研削盤。



【MIG-130Li-z2型機】

## ◆第二弾の小型、高精度機の開発

### センタレス研削盤 MPC-250HP-A0型の開発

ベッドがポスターサイズのA0判

小型でありながら、プランジドレスによるアンギュラ研削も可能とした研削盤を開発。



【MPC-250HP-A0】

## ミクロン精密 みはらし工場

投資額 : 約14億円 (建物及び機械設備)  
延床面積 : 5,213.95平方メートル  
生産開始日 : 平成28年5月

蔵王みはらしの丘(現R&Dセンター北隣)に工場用地を取得し、  
現在老朽化した機械加工工場(第二工場)を移転。  
(これまで2つの工場(第二工場とハイテクノロジーセンター)でそれぞれ行っていた  
切削加工部門と研削加工部門を1つの工場に集約し生産能力の向上をめざします。)



【みはらし工場 内部】

## 生産効率向上、ムダ削除の推進

◆生産効率向上、ムダ削除の結果として  
売上総利益の上昇

◆正味稼働時間率向上と  
外部原価低減によるコストダウン目標 15%

◆ものづくりは人づくり  
ブラザーシスター制の導入 ～技能・技術の伝承と鍛錬～  
技術、知識の向上 ⇒ 生産能率向上 人柄の醸成

●将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業績等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

問い合わせ先 管理部

電話 : 023-688-8112

FAX : 023-688-8545

<http://www.micron-grinder.co.jp/>